

山崎委員 説明資料

令和5年12月20日（水）

第1回 クールジャパン・アカデミアフォーラム

山崎まゆみ 温泉エッセイスト 跡見学園女子大学（観光温泉学・観光取材学）兼任講師

日本だけでなく世界中の温泉を巡る **現在33カ国の温泉を訪問**

「温泉での幸せな一期一会」をテーマにテレビラジオ新聞雑誌webでレポート



《日本の温泉文化を国内外に広く発信・インバウンド》

2008年～ VISIT JAPAN大使（観光庁任命）として日本の温泉文化を発信

《バリアフリー温泉の普及への取り組み・有識者会議参画・ユニバーサルツーリズム》

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック競技大会推進本部事務局「ユニバーサルデザイン2020評価会議」

観光庁「ユニバーサルツーリズム促進事業」など、ユニバーサルツーリズムに関わる様々な委員を歴任

《観光温泉学・観光取材学講師》

2017年～ 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部「温泉と保養」「取材学」

《有識者として国や地方自治体の観光行政に参画》

観光庁長官表彰の審査員、観光庁「既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業」「看板商品創出事業」等多数歴任

「新潟県の魅力を考える懇談会」、「新潟プレミアムサロン」（月1回開催）ではコーディネーターを務める



経歴

1997年～ 文筆業

2004年『尋訪絶世好湯「日本・台湾」泡湯達 人的露天温泉旅行』（西遊記） ※日本の温泉本を台湾で出版

2008年『だから混浴はやめられない』（新潮新書） 2009年『ラバウル温泉遊撃隊』（新潮社） 2012年『おひとり温泉の愉しみ』（光文社新書）

2014年『白菊 -shiragiku- 伝説の花火師・嘉瀬誠次が捧げた鎮魂の花』（小学館）

2019年『行ってみようよ！ 親孝行温泉』（昭文社）は「バリアフリー温泉で家族旅行」のシリーズ第3弾

2020年『女将は見た 温泉旅館の表と裏』（文春文庫） 2023年『温泉ごはん 旅は美味しい!』（河出文庫）他 **著作は23冊 2024年には2冊新刊を上梓**

現在連載中 東京新聞 『オール讀物』（文藝春秋刊）『味の手帖』 観光経済新聞 Yahoo!ニュース「山崎まゆみの観光温泉学」 文春オンライン

レギュラー出演中 NHKラジオ深夜便「バリアフリーで温泉を楽しむ」（第4水曜日）



「温泉文化」をユネスコ無形文化遺産へ



「温泉文化」とは

湯治 共同湯 湯小屋 温泉街 湯もみ

湯宿 和風建築、和室（畳、布団、行燈）
和食（地域で採れる食材で料理）
大浴場、湯守、女将



温泉番付の発行 「諸国温泉功能鑑」（江戸中期から後期に発行）
相撲の番付に見立て、病気に効く順に並べられている

江戸時代の入浴法

草津温泉（酸性・硫黄泉）～四万温泉で仕上げの湯（硫酸塩泉など）

下呂発温泉博物館展示所蔵

こうした解説が日本人にも、外国人にも必要！

観光産業は日本の基盤産業へ

旅館は地域のインフラ・地域経済の基盤・地域文化を守る

観光庁補助事業 「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」

旅館は地域のインフラ 地域の歴史・文化を守るショールーム

先進地域事例

世界の城崎を目指す**城崎温泉** DXを活用、温泉街の空き家活用

持続可能なエコビレッジを目指す**松之山温泉** バイナリー発電で売電 温泉で料理

観光庁補助事業 「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」

有識者と地方運輸局との手厚いサポート体制「チーム」でバックアップ



クールジャパンアカデミアとしての課題
シビックプライドを育てる

地域の資源を掘り下げ、その価値を共有することで、
地域の皆さんに自信と誇りを持って頂く

住んでよし、訪れてよし
(2003年「観光立国懇談会報告書」)

事例 日本人ですら温泉文化への理解が乏しい 群馬県と温泉の歴史を紐解く「温泉街道」
地方からの積極的な発信 新潟県が月に1度東京で開催する「新潟プレミアムサロン」